

新伝説～1298年目の奇跡～

滝の水が酒に変わり健康な体まで得られた不思議な伝説。これは私が住む養老町で昔から伝わる滝伝説である。

滝伝説は病弱な父親を養う息子が酒の味がする不思議な泉を見つけ、その水を父親に飲ませたところ病気が治り若返ったという話である。話にはまだ続きがあり、孝行話を伝え聞いた元正天皇がこの地を訪れ、この水を「老いを養う若返りの水」と讃え、西暦717年、元号を「靈龜」から「養老」に改元しているのだ。（平安時代に編纂された続日本紀に史実として記載されている）

私は子供のころから何度も滝を見てきた。小学校3年の時には友達だけで来て、滝の水を口に含み酒の味がするか試したこともあった。そんな私が高校生となり滝の水について研究をしているとは面白いものだ。卒業した先輩の実験を引き継ぎ、まず最初に取り組んだのが滝やその近くから出る湧水（菊水泉）の調査だった。誰も調べなかった1年を通しての水質検査を行い、有機物の少ないきれいな水であることを確認した。しかし研究の一環で町の中学生にアンケートを取ると、この澄んだ滝や湧水地を訪れたことがない生徒が5割を超えている。採水の度にゴミ拾い活動も行ってきたが、若い世代は私だけで高齢者の姿ばかりが目立つ。

先輩たちは「酒の味がしたということは滝や湧水にアルコールをつくる酵母菌という微生物が存在するはず」と仮説を立て湧水から酵母菌を見つけた。しかしこの菌で試作した果実酒はとても酸っぱく、先生によると「飲めたものではない」と言う。そこで滝壺の土壌から分離した私の菌の出番だ。これを果汁に加えたところいい香りがしてくる。この菌を使ったパンや酒ができれば、地元の滝や湧水をもっと身近に感じてもらえるはずだ。

私は若返りの秘密にも迫った。ブドウ糖を含んだ食塩水に乾燥した酵母の粉末を入れたものと入れないものをつくり、そこに人の肌組成に近い鶏肉を入れたところ酵母の粉末を入れたものは鶏肉表面の褐色を抑えていた。若返り効果を実証することができたのだ。

2つの再現実験を発表する機会が増え少しずつ知られるようになった。中学生から「私もやりたいです！続けてください」ゴミ拾いや採水に行くと滝近くの店員さんから「ここを盛り上げて！頑張って！」と声をかけられる。

私の研究は地域を元気にする活動だったはずだが、実際には自分が元気になる活動でもあった。

この活動を始めて1年が経つが、滝付近の環境は活動を始める前にくらべて確実によ

くなっている。でも私はこの結果に満足していない。これから数十年、数百年の未来に向けて滝の環境が守られていくことが私の願いだ。

元正天皇はこの活動をどう思うのだろう。女性天皇なので酒伝説再現より若返り実験の方が関心は高いかもしれない。保全活動は苦手かな？



Figure 1 養老の滝



Figure 2 湧水 菊水泉

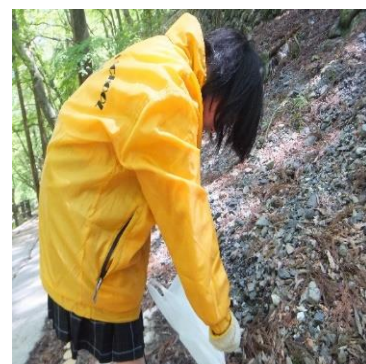


Figure 3 ゴミ拾い

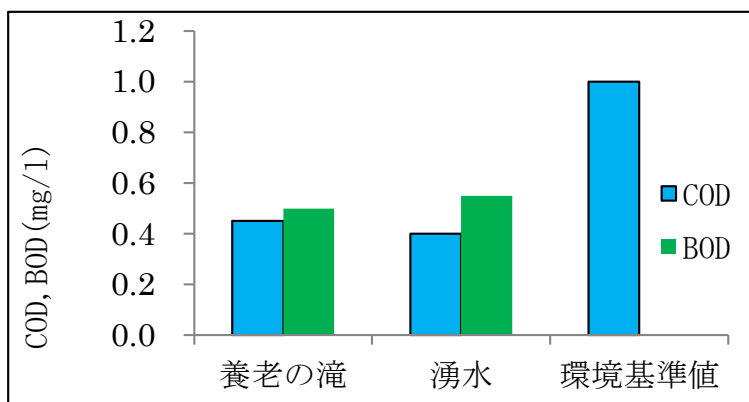


Figure 4 滝と湧水の水質分析 (1年の平均値)

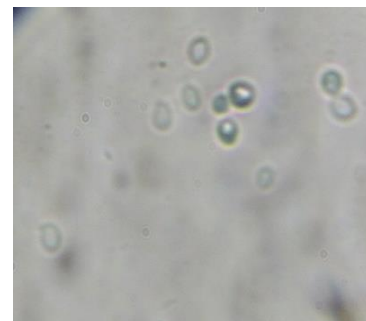


Figure 5 伝説酵母



Figure 6 伝説酵母で焼いたパン

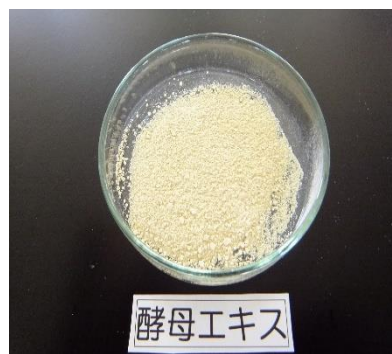


Figure 7 伝説酵母のエキス

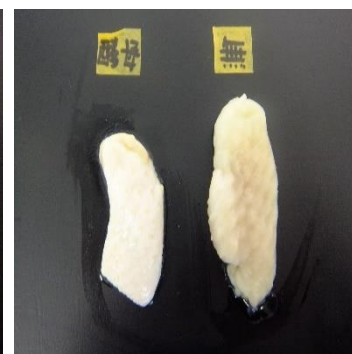


Figure 8 若返り実験